

## 鈴鹿医療科学大学紀要投稿規程

### 1. 投稿の資格

鈴鹿医療科学大学（以下本学という。）教職員及びその共同研究者（学生を含む。）又は本学紀要委員会の推薦を受けた執筆者とする。

### 2. 研究倫理・利益相反

本誌に投稿する論文等は、研究倫理・利益相反等に十分配慮し、関連する諸法規・指針等に則ったものでなければならない。

### 3. 著作権

本誌に掲載された論文等の著作権は本学に帰属する。

### 4. 投稿原稿の種類と受付

原稿の種類としては、寄稿、総説、原著論文、事例研究、研究報告（研究紹介）、活動報告、論説・見解・意見、提案、書評等とする。ただし、そのいずれにも類別できないものについては「その他」として受け付ける。この場合、紀要委員会がその内容を検討し、その都度種別を行うこととする。投稿原稿は未発表のものに限る。

### 5. 査読等

原著論文、事例研究については3名以上の、その他の種別の論文については2名の査読者による査読を行う。また、必要に応じて再査読を行う。著者は査読者の意見に従い修正、あるいは再修正を行う。内容に関しては著者の責任とする。

### 6. 投稿の方法

投稿原稿は、全ての種類で 原稿及びコピー2部（計3部）を提出する。他に原稿が保存されている電子媒体（使用ソフト名を記入）を合わせて提出する。

### 7. 原稿の記載方法

#### ①表題・著者名等（表紙ページ）

本文が和文及び英文にかかわらず、下記項目をA4判1ページに記載する。

1) 投稿の種類

2) 和文及び英文の表題・著者名・所属

3) キーワードと要旨（和文と英文の両方を提出する。）（キーワードは5語程度。要旨は和文で300～400字程度、英文で200語程度とする。）巻末の記載例を参照すること。

#### ②本文（2ページ目以降）

1) 原稿は和文または英文とする。A4判横書きの1段構成とし、文字については和文が明朝体10.5ポイント、英文が12ポイント、プリンター印字のみとする。英文原稿はダブルスペース

で入力・印字する。

2) 原稿の長さは、次のとおりとする。

・総説・原著論文

本文と文献で8,000字程度まで、写真・図・表で計10個以内

・事例研究・研究報告（研究紹介）

本文と文献で6,000字程度まで、写真・図・表で計7個以内

・その他論文

本文と文献で3,000字程度まで、写真・図・表で計3個以内

（参考）約1,800字で組上り1ページにほぼ相当する。

3) 数量の単位は国際単位系（S I）とする。

4) 原著論文及び研究報告等の本文には、原則として、要旨・目的・方法・結果・考察・文献の順で記載する。ただし、必要に応じて適宜変更してもよい。

### ③図表・図版

1) 図表は、番号を付して別紙に添付し、挿入位置を本文に指示すること。

2) 図版は、直接製版するので写真プリントかそれに準ずるものとする。

3) 図表・図版は、タイトル・図表文字内についてなるべく英文で記すこと。

なお、タイトルの位置は、図の場合は下に、表の場合は上に記すこと。

4) 図及び写真の標題及び説明は、別紙に記載すること。

### ④文献の記載方法

本文での引用の記載方法は引用順に数字を括弧内に入れて示すこと。引用文献は本文の終わりに本文での引用順に記すこと。引用文献リストの頭に引用順と同じ番号を付けること。

引用文献の表記形式は下記のとおりとする。ただし、人文社会科学系等の表示形式が異なる分野に関しては、その分野の慣例を優先する。

1) 雑誌の場合

記載方法はバンクーバー方式に準ずること。著者名・タイトル・雑誌名(省略形)・発行年(西暦)；巻数：開始頁－終了頁。

\*著者が6名以内の場合は、全員の著者名を記入する。著者が6名を超える場合は6名のみ記入し、以下は“他”，“et al.”とする。

\*雑誌の略名は、例えば医学関係では、外国雑誌はIndex Medicus、邦文誌は「医学中央雑誌」に準拠する。

\*雑誌の号数記入が必要な場合は巻数の次に（号数）に挿入する（基本的には号数は記入しない）。

<記載例>

1) 市川 肇, 山田友紀, 澤根康裕, 寺部充昭, 小野孝明, 西川宗範, 他. 低格子比グリッドを用いた腹部ポータブル撮影における散乱線補正処理の有用性. 臨床技術. 2019;375:885-891.

2) Guilbert TW, Morgan WJ, Zeiger RS, Mauer DT, Boehmer SJ, Szeffler SJ, et al. Long-term inhaled corticosteroids in preschool children at high risk for asthma. N Engl J Med.

2006; 354:1985-1997.

## 2) 単行本の場合

### 【分担執筆】

著者名. 標題. 書名(編者名), 出版社, 発行地, 開始頁-終了頁, 発行年(西暦).

<記載例>

1) 三宅一徳. 一般的臨床検査. 標準臨床検査医学(第2版)(猪狩淳, 中原和彦 編), 医学書院, 東京, 14-26, 2001.

2) 日本太郎. 大脳基底核の神経回路(第4章, 不随意運動). 脳神経外科学体系(全15巻, 山浦晶 総編集), 第10巻「定位・機能神経外科」(片山容一 編集), 中山書店, 東京, 132-141, 2005.

3) Weinstein L, Swartz MN. Pathologic properties of invading microorganisms. In: Pathologic Physiology: Mechanisms of Disease (Sodeman WA, Wilkinson M, eds), Saunders, Philadelphia, 457-472, 1974.

4) Wiesendanger M. Organization of secondary motor areas of cerebral cortex.

In: Handbook of Physiology. Section I: The Nervous System. Vol. II: Motor Control Part. 2 (Brooks VB, ed), American Physiological Society, Bethesda, 1121-1147, 1994.

### 【個人著者】

著者名. 書名. 出版社, 発行地, ページ数, 発行年(西暦).

<記載例>

1) 檜 学, 島久 洋. 医学概論-医学の進歩と医の倫理-. 朝倉書店, 東京, 255 ページ, 1995.

2) Colson JH, Armor WJ. Sports Injuries and their Treatment. Paul, London, 350pp, 1989.

\*著者が3名以内の場合は、全員の著者名を記入し、著者が3名を超える場合は3名のみ記入し、以下は“他”, “et al.”とする。

## ⑤英語の表題・著者名等

本文が和文及び英文にかかわらず、下記項目をA4判に記載する。

1) 英文の表題・著者名・所属

2) 英語のキーワードと要旨(キーワードは、5語～8語程度。要旨は英文200語程度。)

## ⑥略歴(最終ページ)

1) 学歴

2) 職歴

3) 主な受賞歴、主な研究内容など

## 8. 原稿の採否

①投稿原稿の採否及び総説、原著論文、事例研究、研究報告等の種別は紀要委員会で決定する。

採用決定日をもって受理日とする。

②掲載済の原稿は原則として返送しない。

9. 校正

- ①著者校正は原則初校のみとする。校正刷り原稿受領後7日以内に校正の上、紀要委員会に直接届けるか書留速達で返送すること。
- ②原則として原文の変更は認めない。

10. 別刷

- ①別刷は50部まで本学負担とする。
- ②別刷の追加部数については、実費を著者負担とする。別刷料請求先を連絡すること。

11. 原稿の送り先

〒513-8670 三重県鈴鹿市南玉垣町3500番地3 鈴鹿医療科学大学 紀要委員会  
必ず連絡先を明記してください。

(氏名・所属・電話番号・e-mail、学外者の場合は更に郵便番号・宛先)

12. 本規程の改廃は、大学協議会の議を経て学長が定める。

附則

この規程は、平成30年3月20日に改正し、平成30年4月1日から適用する。

附則

この規程は、令和元年10月29日に改正、施行する。

附則

この規程は、令和2年3月17日に改正、施行する。





<最終ページ 略歴例>

---略歴-----

鈴鹿 太郎[博士 (心理学) ] 鈴鹿医療科学大学●●学部 ●●学科 教授  
●●●●センター長

学 歴 :

昭和●年 ●●大学大学院●●学研究科博士課程修了

職 歴 :

平成●年 ●●大学●●科学研究センター教授  
●年 ●●大学●●学部教授  
●年 ●●大学理事・副学長  
●年 現職

主な受賞歴 :

平成●年 ●●●●●●●●賞  
●年 ●●●●●●賞

学会活動 :

●●●●●●学会 (理事) など

主な研究分野 :

- (1)
- (2)
- (3)

その他の社会的活動 :

## 投稿原稿の種類例（英語名）

1. 寄稿（Invited article）：  
編集委員会から依頼されて提出された論文・論説・記事など。
2. 総説（Review article）：  
ある主題における現行の理解の状態を要約した記事で、単に新しい事実や未発表の分析結果を報告するというものでなく、既に公表された題材等をまとめて提示する内容の論文。
3. 原著論文（Original article）：  
独創性（オリジナリティ）のある最新の学術研究の成果を伝えるもので、一定の記述形式や構成が定まっており、その分野の専門家が査読して、新規な価値ある内容と判定された論文。
4. 事例研究（Case study）：  
少数の患者に起きた症状や社会の出来事（事例）をもとにその詳細を研究した内容の論文。
5. 研究報告（研究紹介）（Research report）：  
研究の中間段階の結果や最終結果をまとめた文書で、形式や構成も定まっていない論文であり、必ずしも独創性ある最新の研究成果を伝える論文である必要はなく、原著論文には至らないレベルの論文。
6. 活動報告（Activity Report）：  
著者が取り組んでいる事業について、文字通りどのような活動をしてきたかについて報告する論文。
7. 論説・見解・意見（Opinion）：  
物事の内容や是非について、自説に基づき論ずる文章。新聞・雑誌における社説やそれに準ずる記事や論文。
8. 提案（Proposal）：  
自分の考えを提示する文書。
9. 書評（Book review）：  
本の内容についての肯定的あるいは批判的な紹介記事。